

## 令和4年度 村長と語り合うタウンミーティング（石神地区）実施報告書

### 1, 開催概要

日時：第1回 令和4年12月3日（土）10:00～12:00

第2回 令和4年12月17日（土）10:00～12:00

会場：石神コミュニティセンター会議室

参加者：第1回 6名（2名欠席），第2回 7名（1名欠席）

ファシリテーター：伊藤 史紀氏（株式会社 C o - L a b）

### 2, 第1回議事概要（◇=参加者発言，◆=村長発言）

#### 村長から話題提供

#### 村長からの話を受けて、思ったこと・感じたこと

#### 村長に質問したいこと、対話したいこと

◇地球温暖化が急激に進んでいる。将来に向け地球温暖化と原子力どちらを取るのか聞いてみたい。

◆一時、国も再エネに舵を切ったが、安定的な電力供給は難しい。原子力には反対ではない。必要だと思うが、それぞれの原発で事情が異なり、地域の意見を聞いて進めていきたい。

◇近所付き合いも大切。個人情報も大切。隣だからといって、自分のところ以外の個人情報をオープンにしてよいのか悩ましい。

◆個人情報は大切。行政が提供する場合は同意を得ている。暮らしについて行政が全てをサポートすることはできないので、地域の方にお願ひし、互助・共助をお願いするところはあるが、非常に悩みどころである。

◇子育て世代、高齢者、どの世代の支援に村は力を入れているのか。

◆子育て世代に力を入れている。

◇子どもが東京に就業した場合、残るのは高齢者。特に男性のリタイア後の身の置き所がない。いきなり「何してもよい」というのは難しい。シルバー人材センターが会員を募集しているが、なかなか人が集まらない。仕事を辞めた65歳から80歳までの人に対して何を提供するかは大きな課題だ。「やりがい」のエネルギーをぶつける場所があってもよいのではないか。

◆この年代にターゲットを絞って熱く語られるのは初めてだ。70代はまだ元気、今の60代は地域との関わりが薄くなっている。それぞれの意向に沿ってしまうとバラバラになってしまう可能性はある。何か皆でできる「受け皿」があってもよいと思う。地域の環境を守るような刈払い活動をしているところもある。地域からやりたいことが出るとよい。

◇早い段階で、顔合わせの場を持たせることが大事だ。子ども会は大事なことで、親が面倒くさいことが原因なら、高齢者が手伝ってもよいのではないか。子ども会等の顔のつながりを早い段階で考えることがよいのかもかもしれない。

◇災害時に避難するといっても、犬猫もいるし、実際に被災した際は、誰がバスに乗るとか、子どもを優先しなければならないとか、問題があると思う。常日頃から私たちも言われたことだけでなく、もうちょっと自分たちで共有しないといけない。

◆PAZ（東海第二発電所から約5キロメートル圏）の範囲では、原子力事故の避難時は、村は自

家用車避難が原則だ。色々な事情がある人はバスで避難する。例えば、親が働いている小学生は避難先で親に会ってもらおう。自家用車がない人が一時避難所へ行く。そういう話がちゃんと伝わっていない。いずれにしても、「何かあったとき」「皆さんがどう動くか」をお示ししたい。

◇避難する優先順位をつけた方がよい。放射線の影響を考えた避難の優先順位を考えてはどうか。

◇日本では「シェルター」は考えないのか。福島事故があった後、地面に潜ることは考えなかったのか疑問だ。公共施設の地下等にシェルターを作れないのか。

◆いろいろなやり方もあるし、諸外国と異なり、戦争をしない国という文化もある。家を建て、プラス「シェルターも」となると、村が「怖いところ」という印象になるのはいかがかと思う。病院や特別養護老人ホームには陽圧化装置を設置し、一時的に過ごすことができる。

◇バイクに40年乗っている。出掛けて自然の風景を見るのが生きがい。これからさらに年齢を重ねた時の移動手段に不安がある。

◆高齢化が進展して、交通がどうなるのかは個人的ではなく、多くの人の課題。デマンドタクシーを増やすことでも、路線バスだけでも解決しない。これからは、自動運転などで、乗りたいときに乗れるような時代がくると思う。新しいものが出てくれば、実証等をやってみたいとも思う。ただ、何でも配達し、家から全く出なくなるのだけは避けたい。周辺を移動できるような足腰の維持はしてもらいたい。

◇若い高齢者が年とった高齢者を、自家用車に乗せて助けるのはよいのではないか。

◆実際やっているところはある。過疎地域だと切迫感があるので、住民同士でやっている。

◇移動はバスかタクシーだと思うが、近隣の市町村まで移動できたらよいと思う。

◆バス事業者は赤字だと路線の運行はしない。自治体を越える移動を調整することはできるが、利用者の確保が必須になる。利用者の利便性を考えて進めなければならない。地域公共交通会議で議論していきたい。

### 3、第2回議事概要（◇＝参加者発言、◆＝村長発言）

#### 村長に質問したいこと、対話したいこと

◇前回、原子力防災における「避難」の話をした。避難の時の順番を決めなければ、避難計画ができないと思う。専門家の意見を聞いて避難の順番を決めていくのがよい。

◇今まで地域に対する関心はなかったが、参加してみて人の考えはいろいろだなと感じている。

◇東海特有の課題である原子力災害の「避難」については、冬・雪・夜中等、常に最悪の状況を考えている。また、高齢者について、「集いあえる場所」がなかなか無いと感じている。スーパーのイトインコーナーでじっとしている高齢者もいる。それを見ていると、集える場所があるとよいと思う。

◇前回の内容を家族にも話した。一つ的话题を深掘りするのもよいが、広く浅く話すのもよいと思った。

◇村長が、東海村の将来について、例えば、交通とか高齢者等について考えていることは分かった。

今回は、原子力発電所の再稼働について村長に改めて聞きたい。

◇村全体を見ると「不公平感」を感じる。石神外宿のあたりは人口も増えない。人が増えるのはまちなかだけ。国道が通っているがスーパーも公園もない。集まれる場所があるとよい。

◇地域のコミュニティについて問題を感じる。高齢化し、空き家もある。自治会の統合等も将来は考えなければならないかもしれない。今は若い人と高齢者のコンセンサスは難しい問題だと感じる。

◆皆さんの話を聞いて、タウンミーティングという場所があってよかったと思う。まちづくりは多種多様であり、私も手探りでいろいろやっている。原子力にしても、公共交通にしてもそうだ。皆さんが全てを話すことはなかなかできないが、地区の役員等になっていない方の意見を聞く場所はなかなか無いので、今回もよろしくお願ひしたい。

◇今、問題だと思うのが、新しく転居してきた人が常会（班）に入らず、ごみ捨てだけはやるということだ。子ども会活動も成り立たなくなっている。常会（班）に入った際に、神社の祭礼立ち合い等の義務が平日にある。若い世代はできないのだろう。従来通りの形からは変えていく必要がある。

◇今の状況としては、ここ10年位で入ってきた人は名前も顔も分からない。交流があった方がよいと感じている。

◇竹瓦に住んでいて、石神内宿等に家を建てる人もいるようだ。過疎化という観点としては、私は仕方がないと思う。駅からも遠いので、集約化が必要だと思っている。

◇人と人はハートで繋がっているところもある。そこが非常に難しいと感じている。以前から住んでいる人は、住んでいる地区に愛着を持っている。その地区を存続させていこうと考えたとき、人数が一桁の常会（班）を二桁にするために統合するとか、活動日を限定しその日以外はやらないと決めるとか、平日の参加が難しい若者などが参加しやすい手法を考え、今の生活環境を守っていくことが大事だと思う。

◇村では、公園がたくさんあるところと、ないところがある。小学校帰りの子どもに聞くと、遊べる場所が欲しいと言う。そういう子どもたちが小学校まで行かなくても遊べる場所ができるとよい。そうすると、行事がなくても高齢者もそこに出てきて、集える場所になると思う。

◆地域コミュニティについては、農村部と住宅地では、維持の仕方が違ってくる。農村部については後継者がいないので、新規就農者がいなければ維持できないと感じている。新しい人に入ってきてもらって循環していくものだ。ただ、人が住むには、学校や病院が必要だ。今回、国道6号が拡幅されるが、その周辺を含めた面的整備が必要だと思う。常会（班）の維持に必要なものとしては「防災」と「ゴミ」の二点。その二つは必要で、若い人にも粘り強く進めていくしかない。公園については、石神で新しく公園を整備するならば「石神城址公園」だと思う。史跡でもあるのであまり開発はできないが、人が集まれるようなところが必要だろう。

◇スマートインターの近くに空き地のようにになっている場所があるが、そういったところを有効活用し、公園を整備することは考えているか。

◆スマートインターの大型車の走行について、役場内部で検討している。また、国道6号が4車線化した際に、二軒茶屋交差点の所からどのようにスマートインターにつなげるかを考える必要がある。そういった道路整備の中で、周辺の大きな場所の有効活用を検討することはあると思う。将来的には、二軒茶屋交差点から榊橋の間についても開発を考える必要があると思っている。原電線の延長も避難道路としてどう整備していくかという課題もある。

◇日立市では室内で子どもが遊べる場所がある。年代を超えて雨でも遊べる、集える場所があるとコミュニティの場になってよいと思う。

◇公園を作るのであれば、道路をからも中が見えるようにしてもらいたい。中が見えないと犯罪の確率も上がると思う。

◇集うようなイベントや場所をつくる構想はあるのか。

◆村は場所をつくることはできるが、運営を誰がするのが課題だ。コミセンの中でもよいと思っているが、商売として成り立たないと、民間では運営しないだろう。

◇東京都では、家を建てたら太陽光パネルを設置することが義務付けられた。このように、東海村では「漏れなく」やる課題はなんだろうかと考える。

◇今は車に乗れているが、運転ができなくなった場合、別の交通手段が必要になる。商業施設等が集中していて、そこを回るバス等があれば何とか行くことができると思う。

◆漏れなくやる課題は、ぱっとは思いつかないが、東海村は、再生可能エネルギーについては太陽光発電の補助、省エネでは断熱窓の補助を行っている。こういった取組みを全世帯で実施すると、その財源はどうするのかとなってくる。公共交通の問題は、自動運転等が出てきているが、最終的には、カーシェアリング等の地域の助け合いと、自動化等のハイブリッドになると思う。

◇電気料金が高騰しているが、原子力発電所が動けば電気料金は下がるのか。火力発電だけだと地球温暖化への影響が大きいと言われているが、先進国としていかなものかと思う。

◇地球温暖化のこともあるため原子力は必要だと感じているが、「地域としていろいろ事情がある。」と前回村長から聞いた。その際の判断基準を聞きたい。

◇当面は原子力発電所に頼るところはあると思う。ただし、東海村の原子力発電所を動かすか否かは別だと思う。避難計画がまとまらないということを知ったが、やはり、約100万人が避難できるのか、もう一度考える必要がある。あとは、原子力発電所の老朽化で、40年以上経過している原子力発電所を稼働して本当に大丈夫なのかという懸念がある。ドイツでは老朽化した原子力発電所を廃炉にしている。

◆原子力発電所を動かして、電気料金が下がるか否かは私も分からない。火力発電と原子力発電は両面で必要だと思う。私の再稼働の判断基準は、村が広域避難計画をいつ策定できるか。そして、実効性が求められるが、住民の皆さんが、きちんと村から情報を提供されて、素早く初動ができるか否かということが重要だと思う。安全対策については、原子力規制庁が課した許可工事について、県でさらに審査しているため、科学的・技術的な県の判断を待ちたい。そして、防災対策と安全対策が揃った時に、「皆さんどうしますか」とお示しし、それでも不安だと感じるか、理解できるか、議会も含めて意見を吸い上げたい。94万と言われる人の避難だが、この94万人が一斉に避難することはできない。ただし、PAZの8万人は何とかできると思う。全ての人逃げるということではなくて、屋内退避する人もいることは、国・県が伝えるべきところだと思う。これらの理解を東海村だけでなく、周辺自治体にもどれだけ得られるかだと思う。40年以上ということだが、専門家が科学的に検証していくしかないと思っている。東海で新しいものに変えていくのはなかなか現実的でない。

◇どんなに専門家が検討しても、原子力発電に関してリスクは必ずある。絶対安全というものはないはず。そこは自分ごととしてどこまで受け入れるかだと思う。

◇石神外宿には買い物ができる場所がない。私もあと10年ぐらいは車に乗れると思うが、いずれ運転できなくなる。ネットで買い物もできるが、やはり目で見たい。そのための交

通対策をしてもらえるのか。また、石神外宿あたりは畑の土埃の問題がある。以前は、村で種と補助金を配っていたが、補助金はなくなってしまい、種をまかなくなったところがある。補助金があれば、多少はなくなると思う。

◆ネット購入で何でも家に配達されると、外に出なくなってしまいよくないと思う。今は、お店を調整区域に建てることは原則できないが、調整区域の中で設置できるような緩和ができないか調べている。買い物については、大きなスーパーではなくともできればよいと思う。土埃について、種配布と補助金で二重でないかと停止した。もう少し農業政策課に検討させる。

◇毎日でなくともよいので、石神幼稚園の跡地を買い物ができる場所として開設してもらえるとよいと思う。

◆幼稚園跡地で買い物スペースをという話だが、大手のスーパーと契約しても、物は出せるが人件費はなかなか出してくれない。そのため、誰が運営するのかまで考え、課題を解決していくしかない。

#### 4、アンケート結果（抜粋）

① タウンミーティングに参加して、満足度はいかがでしたか。

5（満足）	4（やや満足）	3（ふつう）	2（やや不満）	1（不満）
5名	2名	0名	0名	0名

（自由記述欄）

- ・たくさんのいろいろな意見が聞けて大変勉強になりました。
- ・村長の回答が早く、また正確であり、よく理解できた。
- ・このような機会を作っていただきありがとうございます。

② タウンミーティングに参加した前後で、あなたの行政や地域への関心、参加意欲は変化がありましたか。

5（高くなった）	4（やや高くなった）	3（変わらない）	2（やや低くなった）	1（低くなった）
2名	4名	1名	0名	0名

（自由記述欄）

- ・直接、積極的に関わるのは難しくても、色々な意見を出すことは大切だと思いました。